平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月8日

上場会社名 理研コランダム株式会社　　上場取引所　東
コード番号 5395　URL http://www.rikencorundum.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 坂爪 康一
問合せ先責任者　(役職名) 常務取締役管理本部長　(氏名) 杉浦 順　TEL 048-596-4411

四半期報告書提出予定日　平成26年5月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	1,138	1.4	41	88.6	50	39.1	39	76.8
25年12月期第1四半期	1,123	△6.4	21	△11.8	36	△10.9	22	△22.9

(注)包括利益　26年12月期第1四半期　△33百万円　(―%)　25年12月期第1四半期　119百万円　(6.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	4.19	―
25年12月期第1四半期	2.36	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	6,134	4,254	69.3
25年12月期	6,170	4,327	70.1

(参考)自己資本　26年12月期第1四半期　4,254百万円　25年12月期　4,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	―	3.00	―	3.00	6.00
26年12月期	―				
26年12月期(予想)		3.00	―	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年 1月 1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,380	3.8	62	20.1	100	△2.9	70	△0.3	7.59
通期	4,950	7.1	120	18.9	200	△2.3	145	4.5	15.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期1Q	10,000,000 株	25年12月期	10,000,000 株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	773,233 株	25年12月期	709,233 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期1Q	9,258,767 株	25年12月期1Q	9,291,752 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提となる条件等については、[添付資料]P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。業績予想の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出は横ばいで推移したものの消費税増税の駆込み需要等による個人消費の拡大や大企業を中心とした企業収益の改善等を背景に、穏やかな回復基調が継続しました。

このような状況下、当社グループの売上については、ユーザーである製造業において概ね復調傾向が見られたことから、増収となりました。

また、利益面においても、増収効果に加え、生産効率化の一層の推進やセールスミックス等により売上原価率を低減させるとともに販売管理費の圧縮を図ったことから、増益となりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高1,138,051千円(前年同期比1.4%増)、営業利益40,627千円(前年同期比88.6%増)、経常利益50,114千円(前年同期比39.1%増)となり、また四半期純利益は38,801千円(前年同期比76.8%増)となりました。

セグメントの概況は、以下のとおりであります。

(研磨布紙等製造販売事業)

当セグメントにおける当第１四半期連結会計期間の業況は、主要販売業種先である鉄鋼、自動車部品、住宅関連業種向けが堅調であったことから、売上高は920,121千円(前年同期比1.5%増)、営業利益は17,461千円（前年同期の営業損失は1,450千円）となりました。

(ＯＡ器材部材等製造販売事業)

当社グループは、複写機、ＡＴＭ、ファクシミリ、印刷機等の事務機器に組み込まれる紙送り用各種ローラー部品を受注生産しております。

国内向新規製品の拡販による受注増により、売上高は138,285千円(前年同期比2.3%増)、営業利益は18,977千円（前年同期比36.1%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

株式会社ダイエーに賃貸している理研神谷ビルの賃料改定により、賃貸収入は79,645千円(前年同期比1.7%減)、営業利益は62,651千円（前年同期比2.7%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ36,314千円減少し、6,133,933千円になりました。これは主に、研磨布紙等の生産設備の取得で75,526千円有形固定資産が増加しましたが、その有形固定資産の取得による支出で現金及び預金が63,897千円減少、また一時的に円高に振れたことにより、為替換算で生じた持分法適用関連会社の持分相当額の減少により関係会社出資金が25,565千円減少したことと、時価評価額の減少等により投資有価証券が31,885千円減少したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ36,566千円増加し、1,880,120千円になりました。これは主に、約定返済が進んだことにより、借入金が24,256千円減少したことと、役員の退任に伴う慰労金の支給により役員退職慰労引当金が23,944千円減少しましたが、仕入高の増加に伴い支払手形及び買掛金が84,186千円増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ72,880千円減少し、4,253,813千円になりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の業績予想につきましては、平成26年2月13日に公表致しました予想と変更はございません。今後も情報収集に努め、業績への重大な影響が見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

（ⅰ）棚卸資産の評価方法

当第１四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基盤として合理的な方法により算定する方法によっております。

（ⅱ）繰延税金資産及び繰延税負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成26年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	580,696	516,799
受取手形及び売掛金	824,760	787,220
商品及び製品	694,993	703,498
仕掛品	541,565	534,688
原材料及び貯蔵品	186,650	220,272
その他	100,507	110,413
貸倒引当金	△11,346	△11,005
流動資産合計	2,917,825	2,861,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,501,137	3,501,471
減価償却累計額	△2,565,361	△2,578,992
建物及び構築物（純額）	935,776	922,479
機械装置及び運搬具	1,696,902	1,784,809
減価償却累計額	△1,500,673	△1,516,363
機械装置及び運搬具（純額）	196,229	268,446
その他	783,201	809,027
減価償却累計額	△365,417	△374,637
その他（純額）	417,784	434,390
有形固定資産合計	1,549,789	1,625,315
無形固定資産	36,379	38,887
投資その他の資産		
投資有価証券	662,651	630,766
関係会社出資金	972,612	947,047
その他	50,691	48,683
貸倒引当金	△19,700	△18,650
投資その他の資産合計	1,666,254	1,607,846
固定資産合計	3,252,422	3,272,048
資産合計	6,170,247	6,133,933

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成26年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	760,145	844,331
短期借入金	80,000	132,000
1年内償還予定の社債	55,400	55,400
1年内返済予定の長期借入金	241,630	205,574
未払法人税等	24,425	17,766
賞与引当金	－	35,000
その他	169,073	152,555
流動負債合計	1,330,673	1,442,626
固定負債		
長期借入金	115,400	75,200
繰延税金負債	104,669	103,432
修繕引当金	57,052	47,039
退職給付引当金	12,186	15,791
役員退職慰労引当金	124,788	100,844
長期預り金	50,000	50,000
資産除去債務	8,868	8,912
その他	39,918	36,276
固定負債合計	512,881	437,494
負債合計	1,843,554	1,880,120
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	98,753	98,753
利益剰余金	3,528,387	3,539,315
自己株式	△134,227	△146,643
株主資本合計	3,992,913	3,991,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121,122	100,524
繰延ヘッジ損益	3,651	112
為替換算調整勘定	209,007	161,752
その他の包括利益累計額合計	333,780	262,388
純資産合計	4,326,693	4,253,813
負債純資産合計	6,170,247	6,133,933

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成26年１月１日 至　平成26年３月31日）
売上高	1,122,852	1,138,051
売上原価	844,754	840,002
売上総利益	278,098	298,049
販売費及び一般管理費	256,556	257,422
営業利益	21,542	40,627
営業外収益		
持分法による投資利益	8,069	17,051
為替差益	5,358	－
助成金収入	4,706	－
その他	2,913	3,715
営業外収益合計	21,046	20,766
営業外費用		
支払利息	2,299	1,857
手形売却損	1,472	1,548
売上割引	2,785	2,785
為替差損	－	5,084
その他	16	5
営業外費用合計	6,572	11,279
経常利益	36,016	50,114
税金等調整前四半期純利益	36,016	50,114
法人税、住民税及び事業税	22,045	16,218
法人税等調整額	△7,978	△4,905
法人税等合計	14,067	11,313
少数株主損益調整前四半期純利益	21,949	38,801
四半期純利益	21,949	38,801

（四半期連結包括利益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成26年１月１日 至　平成26年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	21,949	38,801
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,521	△20,598
繰延ヘッジ損益	△1,047	△3,539
為替換算調整勘定	7,659	△4,639
持分法適用会社に対する持分相当額	63,787	△42,616
その他の包括利益合計	96,920	△71,392
四半期包括利益	118,869	△32,591
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,869	△32,591
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成25年１月１日　至　平成25年３月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	研磨布紙等製造販売事業	OA器材部材等製造販売事業	不動産賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	906,738	135,114	81,000	1,122,852	－	1,122,852
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	906,738	135,114	81,000	1,122,852	－	1,122,852
セグメント利益又は損失	△1,450	13,948	64,421	76,919	△55,377	21,542

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△55,377千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に連結財務諸表提出会社本社の管理部門に係る費用であります。
２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成26年１月１日　至　平成26年３月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	研磨布紙等製造販売事業	OA器材部材等製造販売事業	不動産賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	920,121	138,285	79,645	1,138,051	－	1,138,051
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	920,121	138,285	79,645	1,138,051	－	1,138,051
セグメント利益	17,461	18,977	62,651	99,089	△58,462	40,627

（注）１．セグメント利益の調整額△58,462千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に連結財務諸表提出会社本社の管理部門に係る費用であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。